

1994~1995

平安

35

35



35周年記念

■スローガン■

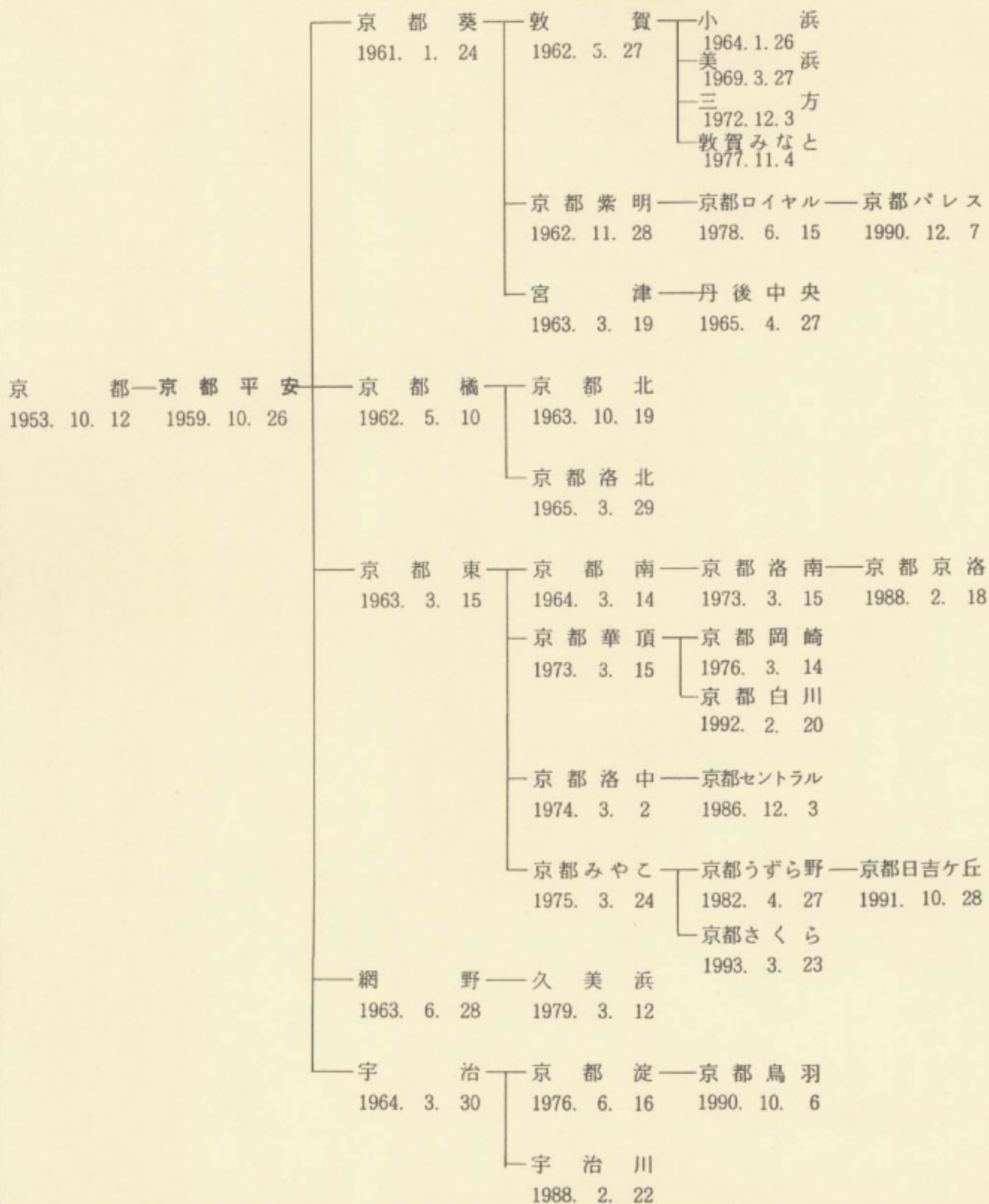
国際会長テーマ.....We Serve

335-C地区 ガバナースローガン.....めざそう クラブの充実

335-C地区 アクティビティスローガン.....発展・誠意あるライオニズムの実践を

京都平安ライオンズクラブ会長スローガン.....語りあいとふれあいを

当 ク ラ ブ 系 図





ご 挨 拶

初例会にあたり35周年を迎えた京都平安ライオンズクラブの運営を荷う責任の重さを痛感致しております。

自由で自然な人間愛の心によってふれあいと語り合いのうちに気の合った仲間が生き甲斐のあかしを求めて集まったのがライオンズ・クラブであると私達は考えております。それぞれ異なった職業と経歴を持った者同志が自由と良識と社会の安定の旗印の下に集まって、よく働き、自らの健康と家族の生活を守り、友達と仲良くし、常に暖かい心を持って周囲の人々と調和し、むつみあい、それによって生まれた活力を社会奉仕につぎこむことによって益々自らの心の高揚と事業の発展を一層活力のあるものにしていこうというのがその主旨であると考えて居ります。

わが京都平安は日本に育ってきた寛容の精神をもって互いに解りあい協力しあっていくというおおらかさにより運営され伝統とも言うべき気風が作られていると聞かされてまいりました。前会長は『自由』をスローガンにされました。自由こそは現代人にとって最も大切なものであろうかと考えます。今年度は『語り合いとふれあい』をスローガンとして掲げます。これにのっとり活力の結集を計り伝統の更なる発展を計り、時の流れに沿った活動を目指して参りたいと考えます。私達は不敏ですが、優秀な温かい心にあふれた仲間がいっしょに歩いて下さいます。

競争社会に明るさを投げかける陽光の一つとなることを目指し、これからの1年間努力致します。よろしく御指導、御協力のほどをお願い申し上げます。

会 長 有 馬 弘 毅

幹 事 荒 川 貢

会 計 石 谷 成 男

1994～1995年度

◎ 役 員・理 事

会 長	L有馬 弘 毅	会 計	L石 谷 成 男	理事(一年)	L竹 村 敏 郎
前 会 長	L岩 田 正	副 会 計	L吉 本 幸 男	◇	L榎 哲 朗
第一副会長	L森 辰 男	ライオンテーマ	L鈴 木 隆	◇	L渡 辺 泰 一
第二副会長	L中 村 洋 平	副 ◇	L川 勝 敏 廣	◇	L鍵 谷 恭 三
第三副会長	L岡 本 喜久穂	テールツイスター	L松 田 泰 行	◇(会員委員長)	L矢 野 和 一
幹 事	L荒 川 貢	副 ◇	L吉 川 哲 朗	理事(二年)	L山 本 正太郎
副 幹 事	L田 村 和 男	理事(一年)	L坂 口 弘	◇	L松 井 昭 治
				◇	L三 木 茂 治

◎ 委員会編成表

運営委員会	委員長	副委員長	委 員	担当理事	担当副会長
出 席	八 木	河 野	熊谷 金田	竹 村	森 (幹)
会 則	吉 田	平 野	大塚(正) 鍵村 井上	◇	◇
財 務	小 山	馬 淵	田丸 山口 小浜	松 井	◇
会員・指導力育成	矢 野	高 野	川人	矢 野	◇
計 画	采 野	西川(幹)	蔵田 吉本 松田(幹) 川勝 吉川(幹) 鈴木 仲村 中川 岡田 小椋 野村 高田	渡 辺	中 村
広 報	山 田	三 浦	宇津 今西 田村 川合	鍵 谷	◇

事業委員会	委員長	副委員長	委 員	担当理事	担当副会長
Y E・国際協調	斎 木	松 島	河合(幹) 石井 北園 元木	坂 口	岡本(幹)
教 育	岸 本	大塚(正)	富田 岩田 大藤 岡本(幹)	◇	◇
市民環境保全	平 井	大河内	森(幹) 鳥居 平松 前田	山 本	◇
社 会 福 祉	多 田	矢 口	小島 岩佐 西脇 河合(正)	◇	◇
献 血	堀 井	松田(大)	守口 柴田(正) 堀口 伊藤 井本 朽木	三 木	◇
保健薬害教育	福 田	黒 山	西川(幹) 柴田(幹) 小谷	榎	◇
視 聴 力 保 護	徳 田	植 村	小堀 浅井 西村	◇	◇

会 計 監 査：吉田 一男

CN35周年記念実行委員長：西川 千大

◎ 奨学基金運営委員会

委 員 長：岩田 正
 信託管理人：坂口 弘
 常任運営委員：大塚(正) 熊谷 高野 石井
 運 営 委 員：鍵谷 平松 小島 北園
 推 進 委 員：有馬 荒川 石谷 岡本(幹) 岸本

◎ 特別委員会

事業資金獲得委員長：中村 洋平
 三大行事迎接委員長：岩田 正
 婦 人 部 会 長：岩田 正
 ◇ 副部長：鍵谷 恭三

◎ 留学生奨学基金運営委員会

委 員 長：田丸 道夫
 常任運営委員：坂口 小堀 井上 岩田

C N 35周年記念アクティビティ

「京都平安LC外国人留学生奨学基金」に寄贈 ￥5,000,000

〔基金制度の概要〕

目的) 京都平安ライオンズクラブは我が国の高等教育機関（以下「大学等」という）に在籍する外国人留学生に対し、奨学援助を行い、国際的な人材の育成と、国家相互の友好親善に寄与することを目的とする次の事業を行う。

- 事業) ①原則として東アジア・東南アジア諸国からの外国人留学生に対する「奨学金」の支給
②奨学金の支給を受ける外国人留学生に対する生活指導および助言
③この制度を推進する為に「奨学基金運営委員会」(仮称) を設け資金調達と運営を計る
④その他、目的を有効に達成するために必要な事業

資格) この「基金」に応募できる留学生は、京都府下の大学等に在学する外国人留学生（出入国管理及び難民認定法における「留学」の在留資格を持つ者）で、募集年度の4月1日現在において、次の要件を備える者とする。

- (1) 学部3年次以上に在学するもの
- (2) 大学院修士課程に在籍する者（学部からの進学予定者を含む）
- (3) 大学院博士課程に在籍する者（大学院前期課程からの進学予定者を含む）
- (4) 学業成績・人物ともに優秀で、経済的な援助の必要性が認められる者
- (5) 原則として、応募の時点で、学部学生は27才未満、大学院学生は40才未満であること。
- (6) 国費・公費留学生とは、日本国政府（文部省）採用の外国人留学生及び人材養成の目的で母国政府奨学金により、派遣された留学生をいう。

〔制度の運営〕

1993年9月より施行。同基金運営委員会により運営。

〔1995.4～1996.3の奨学金給付生〕

キム ホン ギ (韓国)
金 弘 己 (韓国)



京都大学工学部大学院博士課程（建築工学専攻）

建築工学、特に地方文化関係の施設について研究。母国が迎えようとしている地方文化の充実と文化立国の基礎づくりに貢献が期待される。

ホイ テフ 鉄 (中国)
李 達 鉄 (中国)



京都工芸繊維大学工学部大学院博士課程（情報・生産システム科学専攻）

遠心型ターボ機械の研究開発を専攻。やがて興隆が約束される母国の工業発展には、このような基礎科学が不可欠であり将来の活躍が期待される。

労力アクティビティ

1. 7月4日	成分献血	3名	3時間	L 16名×1時間	16時間		
2. 8月1日	〃	1名	1時間	19. 12月5日	成分献血 1名 1時間		
3. 8月16日	〃	1名	1時間	20. 12月10日	第26回精神薄弱児者施設学習発表会開催 於：京都会館第二ホール		
4. 9月5日	〃	2名	2時間	L 57名×4時間	228時間		
5. 9月19日	第1回街頭献血実施。於：中央市場 受付等お手伝い。 L 3名×4時間＝12時間 L 4名×3.5時間＝14時間 L 11名×6.5時間＝71.5時間			計 97.5時間	21. 12月13日	成分献血 1名 1時間	
6. 9月21日	成分献血	1名	1時間	22. 12月30日	〃 1名 1時間		
7. 10月3日	世界ライオンズ奉仕デーの一環として、 高齢化社会への対応のため老人福祉施設、特別養護 老人ホーム「原谷・こぶしの里」訪問・交流手作り の労力奉仕活動を実施。 L 33名×4時間			132時間	23. 1月14日	献血モニターと京都府赤十字血液センタ ーとのディスカッション実施。 於：ニューミュンヘン京都大使館 L 9名×3時間 L 2名×2時間	31時間
8. 10月3日	成分献血	1名	1時間	24. 1月17日	成分献血 1名 1時間		
9. 10月11日	〃	1名	1時間	25. 1月29日	〃 1名 1時間		
10. 10月14日	第13回全国アイバンクシンポジウムに参 加。於：神戸国際会議場 1名×3.65時間			3.65時間	26. 2月6日	〃 1名 1時間	
11. 10月15日	第11回京都・滋賀・奈良地区アイバンク シンポジウムに参加。於：橿原文化会館小ホール 2名×3時間			6時間	27. 2月16日	第2回街頭献血実施。於：中央市場 受付等お手伝い。 L 4名×2時間＝8時間 L 3名×4時間＝12時間	20時間
12. 10月16日	成分献血	1名	1時間	28. 3月4日	京都府立植物園同会館研修室に於いて 「園芸教室」開催。 L 18名×2時間	36時間	
13. 10月18日	〃	1名	1時間	29. 3月6日	成分献血 1名 1時間		
14. 10月28日	「あけぼの会共同作業所」支援のため、 いもほりアクティビティを実施。於：京北観光農園 L 9名×7時間			63時間	30. 3月19日	「'95 京都シティハーフマラソン」に通行路 整理等の協力。 (3R1Z 合同アクティビティ) L 25名×3時間	75時間
15. 11月4日	「京の山が変るー自然を考えようー」を テーマにシンポジウムを一般市民対象にクラブ手作 りで開催。於：山一ホール L 34名×3時間			102時間	31. 4月2日	成分献血 1名 1時間	
16. 11月15日	京都府赤十字血液センター1日所長とし て、人気タレント森脇健児氏を迎えて街頭啓発運動 を開催。於：献血ルーム・四条 L 11名×4時間			44時間	32. 4月3日	成 〃 1名 1時間	
17. 11月15日	成分献血	1名	1時間	33. 4月13日	「公益信託京都平安ライオンズクラブ奨 学基金」平成7年度奨学生給付認定状授与式を三井 信託銀行京都支店に於いて開催。 L 14名×2時間	計28時間	
					合計	904.15時間	

献 血 报 告

- | | |
|--|--|
| 1. 7月4日 献血ルーム・四条に於いて実施。
受付数110名 採血数 99名 不適格数 11名
採血量 @200ml×10名= 2,000ml
@400ml×23名= 9,200ml
計 11,200ml
成分献血 @600ml×66名=39,600ml | 採血量 @200ml×9名= 1,800ml
@400ml×36名=14,400ml
計 16,200ml
成分献血 @600ml×106名=63,600ml |
| 2. 7月31日 献血ルーム・四条に於いて実施。
受付数154名 採血数146名 不適格数 8名
採血量 @200ml×10名= 2,000ml
@400ml×43名=17,200ml
計 19,200ml | 9. 11月8日 献血ルーム・四条に於いて実施。
採血量 @400ml×1名=400ml
10. 11月15日 献血ルーム・四条に於いて森脇健児氏を迎えて実施。
受付数 87名 採血数 85名 不適格数 2名
採血量 @200ml×7名= 1,400ml
@400ml×16名= 6,400ml
計 7,800ml
成分献血 @600ml×62名=37,200ml |
| 3. 成分献血 @600ml×93名=55,800ml
3. 8月1日 献血ルーム・四条に於いて実施。
受付数131名 採血数119名 不適格数 12名
採血量 @200ml×16名= 3,200ml
@400ml×29名=11,600ml
計 14,800ml
成分献血 @600ml×74名=44,400ml | 11. 12月5日 献血ルーム・四条に於いて実施。
受付数 73名 採血数 69名 不適格数 4名
採血量 @200ml×4名= 800ml
@400ml×13名= 5,200ml
計 6,000ml
成分献血 @600ml×52名=31,200ml |
| 4. 8月29日 献血ルーム・四条に於いて実施。
受付数102名 採血数 95名 不適格数 7名
採血量 @200ml×10名= 2,000ml
@400ml×20名= 8,000ml
計 10,000ml
成分献血 @600ml×65名=39,000ml | 12. 12月21日 献血ルーム・四条に於いて実施。
採血量 @400ml×1名= 400ml
13. 12月22日 献血ルーム・四条に於いて実施。
採血量 @400ml×1名= 400ml
14. 12月27日 献血ルーム・四条に於いて実施。
採血量 @400ml×1名= 400ml
15. 12月28日 献血ルーム・四条に於いて実施。
採血量 @400ml×1名= 400ml
16. 1月2日 献血ルーム・四条に於いて実施。
受付数146名 採血数139名 不適格数 7名
採血量 @200ml×9名= 1,800ml
@400ml×37名=14,800ml
計 16,600ml
成分献血 @600ml×93名=55,800ml |
| 5. 9月5日 献血ルーム・四条に於いて実施。
受付数112名 採血数101名 不適格数 11名
採血量 @200ml×7名= 1,400ml
@400ml×22名= 8,800ml
計 10,200ml
成分献血 @600ml×72名=43,200ml | 17. 1月24日 献血ルーム・伏見大手筋に於いて実施。
採血量 @400ml×1名= 400ml
1月29日 献血ルーム・四条に於いて実施。
採血量 @200ml×1名= 200ml
18. 1月30日 献血ルーム・四条に於いて実施。
受付数173名 採血数156名 不適格数17名
採血量 @200ml×8名= 1,600ml
@400ml×42名=16,800ml
計 18,400ml
成分献血 @600ml×106名=63,600ml |
| 6. 9月19日 第1回街頭献血を中央市場駐車場に於いて実施。
受付数243名 採血数234名 不適格数 9名
採血量 @200ml×77名=15,400ml
@400ml×157名=62,800ml
計 78,200ml | |
| 7. 10月3日 献血ルーム・四条に於いて実施。
受付数134名 採血数122名 不適格数12名
採血量 @200ml×12名= 2,400ml
@400ml×28名=11,200ml
計 13,600ml
成分献血 @600ml×82名=49,200ml | |

19. 2月6日 献血ルーム・四条に於いて実施。
 受付数129名 採血数120名 不適格数 9名
 採血量 @200ml×10名= 2,000ml
 @400ml×37名=14,800ml
 計 16,800ml
 成分献血 @600ml×73名=43,800ml
20. 2月7日 医仁会武田総合病院に於いて実施。
 受付数 59名 採血数 46名 不適格数 13名
 採血量 @200ml×21名= 4,200ml
 @400ml×25名=10,000ml
 計 14,200ml
21. 2月9日 駅前武田病院に於いて実施。
 受付数 65名 採血数 38名 不適格数 27名
 採血量 @200ml×4名= 800ml
 @400ml×34名=13,600ml
 計 14,400ml
22. 2月16日 第2回街頭献血を中央市場駐車場に於いて実施。
 受付数212名 採血数197名 不適格数 15名
 採血量 @200ml×64名=12,800ml
 @400ml×133名=53,200ml
 計 66,000ml
23. 3月6日 献血ルーム・四条に於いて実施。
 受付数117名 採血数111名 不適格数 6名
 採血量 @200ml×8名= 1,600ml
 @400ml×28名=11,200ml
 計 12,800ml
 成分献血 @600ml×75名=45,000ml
24. 4月3日 献血ルーム・四条に於いて実施。
 受付数 82名 採血数 80名 不適格数 2名
 採血量 @200ml×3名= 600ml
 @400ml×26名=10,400ml
 計 11,000ml
 成分献血 @600ml×51名=30,600ml
- 合計 @200ml×290名= 58,000ml
 @400ml×755名=302,000ml
合計 360,000ml

(但、成分献血は別記にて加算)

成分献血報告 (於：献血ルーム・四条、伏見大手筋)

7月4日	66名	39,600ml	12月14日	4名	2,400ml
27日	1名	600ml	17日	1名	600ml
31日	93名	55,800ml	20日	1名	600ml
8月1日	74名	44,400ml	25日	2名	1,200ml
5日	1名	600ml	28日	1名	600ml
12日	1名	600ml	30日	1名	600ml
16日	1名	600ml	1月2日	93名	55,800ml
29日	65名	39,000ml	4日	2名	1,200ml
9月3日	1名	600ml	17日	1名	600ml
5日	72名	43,200ml	27日	1名	600ml
21日	7名	4,200ml	29日	1名	600ml
10月3日	82名	49,200ml	30日	106名	63,600ml
4日	1名	600ml	2月1日	2名	1,200ml
8日	1名	600ml	6日	73名	43,800ml
11日	2名	1,200ml	12日	1名	600ml
13日	2名	1,200ml	28日	1名	600ml
16日	2名	1,200ml	3月6日	75名	45,000ml
18日	4名	2,400ml	7日	1名	600ml
21日	1名	600ml	16日	1名	600ml
30日	106名	63,600ml	27日	1名	600ml
11月11日	1名	600ml	4月2日	1名	600ml
12日	1名	600ml	3日	51名	30,600ml
15日	62名	37,200ml	4日	1名	600ml
18日	1名	600ml	17日	1名	600ml
12月5日	52名	31,200ml	20日	1名	600ml
6日	1名	600ml	28日	1名	600ml
11日	2名	1,200ml			
13日	2名	1,200ml			

合計 1,130名

678,000ml

◎ LCIF \$1,000個人寄付メルビン・ジョーンズ・フェロー賞

L石井輝雄	(¥104×\$1,000)	4回目	¥	104,000
L坂口弘	〃	2回目	¥	104,000
L有馬弘毅	〃	1回目	¥	104,000
L荒川貢	〃		¥	104,000
L斎木真	〃		¥	104,000
L鈴木隆	(¥105×\$1,000)		¥	105,000
L石谷成男	(¥107×\$1,000)		¥	107,000
合 計			¥	732,000

◎ 事業資金獲得報告 (収益金)

1. 11月第二例会・事業資金獲得例会開催 (11月17日)	収 益 金	¥	1,088,354
2. 大丸京都店よりのリベート代 (4月末日迄)	〃	¥	86,975
3. 3R1Zゾーンチャリティーゴルフ大会剰余金分担金		¥	77,216
合 計		¥	1,252,545

公益信託・京都平安ライオンズクラブ奨学金事業報告

1. 平成6年度奨学生20名に対し7月～3月迄奨学金給付 @10,000×9ヶ月×20名	¥	1,800,000
2. 平成7年度奨学生20名に対し4月～6月迄奨学金給付 @10,000×3ヶ月×20名	¥	600,000
3. 上記平成7年度奨学生認学生認定状授与式費用 (4月13日)	¥	38,419
合 計		¥ 2,438,419
奨学基金累計		¥50,000,000

京都平安ライオンズクラブ奨学金給付生（平成7年度）

氏 名	生年月日	学 校 名	氏 名	生年月日	学 校 名
原 田 美 香（女）	S 52. 5 . 7	京都府立鴨沂高等学校	桜 田 賀 子（女）	S 52.11.28	京都府立北稜高等学校
川 田 菜 穂（女）	S 52. 4 .21	京都市立西京商業高等学校	大 坪 正 明（男）	S 52. 7 .16	京都府立嵯峨野高等学校
佐 野 糸 帆（女）	S 52. 9 . 6	京都府立朱雀高等学校	山 田 知 明（男）	S 52. 9 .27	京都府立北嵯峨高等学校
南 浦 圭 一（男）	S 53. 1 .18	京都府立鳥羽高等学校	山 内 博 美（女）	S 53. 1 .11	京都府立洛西高等学校
北 山 友佳子（女）	S 52. 8 .30	京都府立山城高等学校	服 部 篤 実（女）	S 52.11. 8	京都府立桃山高等学校
山 口 充 史（男）	S 52. 5 .12	京都市立日吉ヶ丘高等学校	黒 木 八千代（女）	S 52. 5 . 8	京都府立洛東高等学校
福 島 陽 児（男）	S 52. 5 . 5	立 命 館 高 等 学 校	宮 里 美 樹（女）	S 52. 5 .14	京都府立商業高等学校
後 藤 尚 子（女）	S 52. 6 .10	京都市立堀川高等学校	松 長 修 平（男）	S 52. 7 .18	京都市立伏見工業高等学校
山 津 有希江（女）	S 53. 1 .28	京都市立紫野高等学校	谷 内 一 貴（男）	S 52. 5 .22	京 都 府 立 盲 学 校
伊 吹 拓（男）	S 52. 5 .27	京都府立洛北高等学校	久 保 聡 子（女）	S 52. 4 . 5	京 都 府 立 聾 学 校

平成7年度奨学生認定状授与式



◎ 平安奉仕デー



○世界ライオンズ奉仕デーの一環として、老人福祉施設「原谷・こぶしの里」訪問



○タレント森脇健児氏を迎えて街頭献血啓発活動



○街頭献血実施（於・中央市場）



○「あけぼの会」支援のためのいも掘りアクト



○京都府立植物園へ図書贈呈に伴う園芸教室

秋の婦人部会報告

平成6年10月26日

10月26日(水)、雲ひとつない秋空のもと、午前9時観光バスは総勢32名を乗せて京都国際ホテル前を出発した。途中たいした渋滞もなく名神高速道路から中国自動車道へ、さらに北六甲有料道路を経て予定より約30分早く神戸フルーツ・フラワーパークに到着。エントランス広場で集合写真を撮り、その後2時間の自由行動でそれぞれに楽しいひと時を過ごす。

美しい青空と緑の田園地帯に広がる“中世のヨーロッパ、華麗に咲き誇る色とりどりの花、勇壮な佇まいを見せるレンガ色のお城、そこではすべてが調和し、人の心を和ませ日頃の疲れさえ解してくれるような清々しい思いだった。

その後バスで15分「やすらぎの郷」三田屋本店にて昼食。広々としたガラス張りのワンフロアー、素晴らしい能舞台を前にして、わいわいがやがや楽しくお喋りをしながら、赤ワインにビールに、手づくりハムと最上のステーキに舌鼓をうつ。

お腹もいっぱい…… ほど良い疲れと満足感……
午後3時予定通り三田屋本店を後にする。車の流れもスムーズで、4時30分京都国際ホテル前に無事帰着、解散。
参加者 L 5名 LL 25名 他2名



春の婦人部会報告

平成7年4月15日

かつて詩人は秋の季節の美しさに耐えかねて鳴る琴をうたったが、美しき伍芳奏する中国古箏の二十一絃には爛熟の果て風に身をまかせて乱舞する花びらの歓楽がのりうつったかのごとく、あるときは春の夕べにただよう佳き人のかそけき残り香のごとく、妖しいまでの余韻を聴く人の胸にのこす。

南禅寺「菊水」の婦人部会は45名という稀にみる多くの参加を得て、和やかに賑々しく、春のひとつきを満喫することができた。ロイヤルコペンハーゲンのしゃれたアペリティフと中国二千年の悠久の調べというとり合せも妙というべきか。

ともあれ、まるでこの日のために風に耐え雨をしのいで咲き残ってくれたかのような花の風情がいかにもいとおしく思われて、そんな情感が人の心を優しくしてくれたにちがいない。心なごむ会食のあと、なお花の心と別れがたく、思い思いの道をたずねて残りの春をもとめる姿があった。

参加者 L 12名 LL 33名



◎ 新 入 会 員



新 谷 敏 彦

昭4. 4. 8生
入会 平7. 1. 19
S P L 有馬 弘毅

新谷石材(株) 代表取締役
(勤)〒605 東山区東大路松原上ル3丁目
下弁天町55 ☎561-5983
FAX 525-0892

(自) 同上



橋 本 博

昭7. 5. 12生
入会 平7. 1. 19
S P L 中村 洋平

橋本甚蔵商店 店主
(勤)〒604 中京区油小路通夷川上ル
橋本町494-2 ☎231-5728
FAX 256-7486

(自)〒604 中京区新町通夷川上ル
弁財天町317-1 ☎211-6696

◎ 退 会 者

○L田丸道夫は一身上の都合により、
3月30日をもちましてクラブを退会
されました。

健康にご留意されまして、益々のご
活躍をお祈り申し上げます。

○L高野祥一は一身上の都合により、
6月30日をもちましてクラブを退会
されました。

健康にご留意されまして、益々のご
活躍をお祈り申し上げます。

○L小浜章義は一身上の都合により、
8月31日をもちましてクラブを退会
されました。

健康にご留意されまして、益々のご
活躍をお祈り申し上げます。

○L岡田功は一身上の都合により、
6月30日をもちましてクラブを退会
されました。

健康にご留意されまして、益々のご
活躍をお祈り申し上げます。

◎ ライオンズクラブ国際協会335-C地区 第41回地区年次大会アワード受賞

「クラブ努力賞」

「阪神・淡路大震災支援協力感謝状」

◎ ホームクラブ例会皆出席者

1994年7月～1995年6月迄

L 有 馬 弘 毅	L 田 村 和 男
L 荒 川 貢	L 徳 田 文 男
L 岩 田 正	L 中 村 洋 平
L 宇 津 隆	L 福 田 宗 三
L 大 藤 修 一	L 松 井 昭
L 小 島 暢	L 松 田 泰 行
L 斎 木 真	

◎ 物 故 会 員

故 L 森 敬太郎

ご逝去 平成6年8月8日
午前1時45分



今年の夏は毎日毎日が、36.7度から38.9度の酷暑、うだる様な暑さを放映するテレビ、8月8日の朝、L森敬太郎悲報の電話を受ける、余りの突然死、再々聞き直すが先方からは同じ言葉が返って来るL森敬太郎の死亡確認する8月8日の朝でした。

孫さん始めご子息お嫁さん及び、兄弟等13人の家族と共に、浜名湖温泉へ楽しい幸せな旅行に出発されました。宿での夕食宴も終りそれぞれが楽しい語らいの後各自が休息に、間もなくL森敬太郎が突然急変苦しみだし、家族一同皆様の看病手当の甲斐も無くご逝去されたとの事、信じられない、突然死思いもよらぬ出来事、私も間違いで有ってほしいと念じましたが、現実には長い間の糖尿病からくる心不全で有りました。

皆様の要望で委員長となり故L森の死出の旅路を送る悲しい現実、親しい友人を無くした、むなしさ、淋しさ……L森は常に心やさしい、親切な方で、平素よく計画を立案しては、私等其の仲間一同が同伴で、北は東北、北海道、南は九州、沖縄等又、海外ツアーも、同伴で楽しい思い出を作って下さいました。故L森は歌ってよし踊って良しで、お座敷芸では興に乗るとお座敷小唄で仕舞を即興に振付けて舞う姿は逸品です。故L森、L熊谷、私三人が興に乗ると良く踊ったものです。三人が共に頭の毛がうすいので三人トリオを、平安無毛文化財と、はやされた時代も有りましたが、主演者の故L森が欠け、今は思い出淋しい限りです。突然のご逝去実に断腸の思いです。

人生の儚さを思い知らされました。君の功績を称え、御霊安らかにご冥福をお祈り申し上げます。

合 掌

ラ イ オ ン 歴

1968年7月18日 入会	1982～83 335-C地区年次大会事務局長、
1968～69 計画委員	計画委員、奨学基金運営委員
69～70 *	83～84 会則委員長
70～71 計画副委員長	84～85 財務委員長
71～72 計画委員長	85～86 理事（一年）
72～73 出席委員	86～87 会員委員
73～74 理事（二年）	87～88 教育委員
74～75 幹事	88～89 教育委員長
75～76 国際協調委員、副婦人部長	89～90 計画委員、奨学基金運営委員
76～77 広報委員長	90～91 視聴力保護委員
77～78 財務委員長	91～92 *
78～79 保健委員	92～93 理事（二年）
79～80 環境保全副委員長	93～94 理事（一年）
80～81 市民公衆安全委員長	94～95 市民環境保全委員
81～82 第三副会長	

◎ ゴルフ同好会

キャプテン／L 柴田正次郎 幹事／L 鈴木 隆、L 仲村勝彦

平成6年7月13日	瑞穂ゴルフ倶楽部	優勝者	L 仲 村 勝 彦
	〃	会長杯取り切戦優勝者	L 吉 川 哲 朗
平成6年9月21日	蒲生ゴルフ倶楽部	優勝者	L 鍵 谷 恭 三
平成6年10月27日	日野ゴルフ倶楽部	優勝者	L 川 勝 敏 廣
平成6年11月11日	京都ゴルフ倶楽部	優勝者	L 榎 哲 朗
	(3 R 1 Z 親善チャリティー大会を兼ねる)		
平成6年12月14日	ベニー・カントリー倶楽部	優勝者	L 松 田 太 藏
平成7年3月22日	城陽カントリー倶楽部	優勝者	L 元 木 茂
平成7年4月11日	遠征 ツインフィールズゴルフクラブ	優勝者	L 吉 田 一 男
～12日			
平成7年5月26日	近江カントリー倶楽部	優勝者	L 川 勝 敏 廣
平成7年6月14日	亀岡カントリー倶楽部	優勝者	L 山 田 喜一郎

◎ う づ き 会

会長／L 熊谷 治 常任理事／L 守口清俊

平成6年7月28日	京都ゴルフクラブ東コース	優勝者	L 林 寿 造 (橋LC)
平成6年9月29日	〃	優勝者	L 堀 口 治
平成6年11月25日	〃	優勝者	L 鈴 木 隆
平成7年1月26日	〃	優勝者	L 守 口 清 俊
平成7年3月24日	〃	優勝者	L 林 寿 造 (橋LC)
平成7年5月25日	〃	優勝者	L 大 塚 定 夫

◎ ボウリング同好会

幹事／L 仲村勝彦・L 中川久男

平成6年7月19日	しょうざんボウル	優勝者	川 崎 太一郎 君
平成6年8月9日	〃	優勝チーム	A チーム
	〃		L 平野・L 吉川・L L 黒山
平成6年9月20日	〃	優勝者	L 斉 木 眞
平成6年10月18日	〃	優勝者	L 吉 田 一 男
平成6年11月15日	〃	優勝者	L 北 園 文 英
平成6年12月20日	〃	上半期会長杯取り切戦優勝者	L 小 島 暢
	〃	12月優勝者	L L 荒 川 静 代
平成7年1月24日	〃	優勝者	L 中 川 久 男
平成7年2月21日	〃	優勝者	L L 黒 山 康 子
平成7年3月14日	〃	優勝者	Ast 磯 貝 薫
平成7年4月18日	〃	優勝者	L 竹 村 敏 郎
平成7年5月16日	〃	優勝者	L 斉 木 眞
平成7年6月18日	日帰り 芦原温泉	下半期会長杯取り切戦優勝者	L 中 川 久 男
	〃	6月優勝者	L L 斉 木 暁 子

◎ 文化同好会

会長／L 矢野和一 幹事／L 岡本喜久穂・L 矢口雅彦

- 平成6年11月18日
奈良高市クラブL川田のお世話で、高取町大和歴史資料館から薬種会社見学、壺阪寺参拝。昼食は花大和にて日本薬膳料理を賞味。
参加者 20名
- 平成7年3月15日(木)
大相撲3月場所観戦(大阪)
参加者 39名
- 平成7年6月23日
川島織物文化館より、玉屋かも川店、薬美術館、泉屋博古館見学。
参加者 25名

◎ サッポロ龍盛会

会長／L 西川千大 常任幹事／L 柴田正次郎、L 近藤(宇治LC)、L 伊藤元夫

		(世話役)	(場所)	(参加人員)
第360回創立30周年記念				
	平成6年7月26日	L西川(千)、L柴田(正)、L近藤(宇治LC)、L伊藤	京都国際ホテル	148名
第361回	平成6年8月23日	宇治LC会長 L信貴、L近藤(宇治LC)	ラポ	51名
第362回	平成6年9月27日	L西川(千)、L柴田(正)、L近藤(宇治LC)、L伊藤	ニューミュンヘン京都大使館	45名
第363回	平成6年10月25日	薬LC L細川栄一	京・新山	33名
第364回	平成6年11月21日	南LC L松原、L福井	楠 荘	50名
第365回	平成6年12月21日	L西川(千)、L柴田(正)、L近藤(宇治LC)、L伊藤	京の地ざけ	37名
第366回	平成7年1月26日	阪神大震災のため中止		
新ためて第366回	平成7年2月28日	L西川(正)、L柴田(正)、L近藤(宇治LC)、L伊藤	ニューミュンヘン京都大使館	56名
第367回	平成7年3月30日	々	々	40名
第368回	平成7年4月26日	ガバナー L篠原 寛 キャビネット幹事 L西村 満治 キャビネット会計 L堀井喜三郎		45名
第369回	平成7年5月23日	L小山、L宇津	花 伝	41名
第370回	平成7年6月27日	L西川(千)、L柴田(正)、L近藤(宇治LC)、L伊藤	OSAKAミュンヘン京都大使館	28名

第833回
7月第1例会
初例会

地区役員をはじめブラザークラブよりのご来賓を迎え、「語りあいとふれあいを」をスローガンに掲げた有馬元気号、力強いスタート宣言のあと、ご来賓より丁寧の中にもユーモラスな祝辞をいただいた後、地区役員の伝達式、ゾーン・チェアマンし井上の乾杯発声で楽しく会食、TTし松田の吟詠と続き、幹事し荒川の司会のもと、その後のスケジュールにも、余裕を持った初例会でありました。



第834回
7月第2例会
早朝例会

午前7時30分開会のゴング。し有馬会長の渾身の力と声で手作りの例会をと挨拶のあと、335複合地区役員し石井に対し委嘱状を伝達されました。収支会計報告をし平松より、監査報告をし馬淵がされました。そこでテールツイスター登場し松田とし吉川の音頭で昔なつかしいラジオ体操をメンバー会員元気よく身体をほぐしました。最後に大変印象に残ったのはし西川(満)の照れながらの華麗なるピアノの指さばきでした。



第835回
8月第1例会
通常例会

昨夏と大違いの今夏、連日蒸るような猛暑続きで、最高気温も記録更新中の八月第一例会（8/4日）今夏の京都の最高気温 38.2度記録）、酷暑のためか国歌斉唱も少々トーンダウン心なしかメンバーも夏ばて気味、今年度初のメンバースピーチ、トップバッターし岡本(喜)登場「花を訪ねて」と題し、美しい24種の高山花と雄大なアルプス五山を絶妙なナレーションとスライドを使って楽しく拝聴、涼感が漂うさわやか例会でした。



第836回
8月第2例会
納涼同伴懇親例会

8月第二納涼同伴懇親例会がし他し34名、出席のもと新築なった京都ホテルで催された。T.T吉川は時代祭の体験談の話、その後ゲストスピーカー富田直幹先生の気学の講演、出席者各々に手渡された九星について一つ一つ性格、運勢のお話があり、よく当たっているのが感心しました。少憩の後し米野の司会し森辰男の挨拶で開宴、アトラクション「オールディーズミュージック」をジュークボックスが演奏、飛入のし黒山の「ブルーハワイ」はいつもながらの素晴らしい美声を拝聴、尤も「オールディーズミュージック」の音の大きさには少々驚かされました。し中村の閉宴の辞でしめくり、暑い一夜楽しい時を過ごしました。



第837回
9月第1例会
長寿例会

9月第1例会は、我がクラブの70才以上の方々14名のメンバーのご長寿をお慶び申し上げる「長寿例会」として開催された。ご出席のご長寿メンバー皆様は今なお矍鑠としておられ、L竹村84才「今後は我々を年寄りの席に座らせてくれるな」との若々しいスピーチ、一同恐れ入るも今後とも我々を叱咤激励されんことを願う許りである。ゲストスピーカーとして西森三保子先生をお招きしL.G.O.Lの話しを聞く。8月8日に急逝された故L森敬太郎の奥様森眞左子様がお礼のご挨拶に来訪された。



第838回
9月第2例会
ガバナー公式訪問例会

L篠原實ガバナーをはじめ地区役員を迎えての例会でした。L篠原ガバナーは就任以来各クラブを公式訪問され、当クラブは23番目の訪問クラブになるとのことでした。本年中に335-C地区の残り87クラブを公式訪問される予定のこと、いやはや大変なお役目です。なお例会半ばで前会長L岩田に100%クラブ会長賞のアワードピンが、前幹事L鎌谷、前会計L平松に100%クラブ各賞のアワードピンがガバナーより渡され出席の皆さんから大きな拍手でお祝いされました。



第839回
10月第1例会
健康例会

午前10時より、メンバーの健康チェックも兼ねた健康例会で18名の受診者がありました。毎年のことながら関係者のみなさんご苦労さんでした。健康etcと題してL有馬は主として老人性白内障のおはなし、L多田はストレスの多い現代社会において、如何にそれとうまくつき合うか健康維持のための「すこやか川柳」なる、かわら版をもとにぼけ防止生活術をユーモアをまじえたいつもの話術でメンバー一同の共感と呼んだ楽しい例会でありました。



第840回
10月第2例会
結成35周年記念同伴例会

チャーターメンバーとして35年在籍のL熊谷治、L富田淑郎、L山口忠兵衛諸氏のお元気なお姿に盛大な拍手がおくられた。つづいて国際協会より21名のメンバーに長年に亘る在籍を記念してモナーク・シェブロン賞が贈られました。会長より副地区ガバナーとしてL西川千大を擁立したいとの発表にメンバー全員が同意された。

小休憩の後、高雄病院理事長中村仁一氏の「成人病はつきあう病気」と題しての記念講演。



第841回
11月第1例会
留学生を迎えての交流例会

11月第一例会（留学生を迎えての交流例会）。L有馬会長より前年度創設された外国人留学生奨学資金の後期授与を金弘巳、寧鉄ご両名に激励のメッセージを添え贈呈。
つづいて明年6月1日のCN35周年実行委員長し西川(千)に委嘱状の伝達と実行委員メンバーの紹介がありCN35周年に向け始動開始。



第842回
11月第2例会
オークション、バザール例会

賑やかな販売合戦がくりひろげられ、そして事業資金獲得委員長のし中村洋平による、いつもながらの名調子でのそれぞれのメンバー店の紹介が一段と雰囲気盛り上げました。続いて、例会ではゾーングolf大会でし柴田正次郎のホールインワンが出たとの、幹事よりの報告がありました。
オークションに入り、し仲村勝彦の威勢のいい掛け声でワインのセリが賑々しく行われ又特別品として日展審査員し河合誓徳の来年の、干支の亥の置物の入札もおこなわれました。



第843回

12月第1例会

第26回精神薄弱児者施設学習発表会

12月第一例会は平安伝統のアクト第26回精薄児者学習発表会が、午後1時より京都会館第2ホールで、多数のライオンの参加及び篠原ガバナーのご来臨を得て、始まりました。まずオープニングに仏教大学チアリーダー部の11名が参加出演していただき、素晴らしい演技で幕開けとなりました。参加学園の学習発表のあと、われらが自慢、平安ホエールズも大活躍。



第844回

12月第2例会

年忘れファミリー懇親例会

前半を締めくくる12月第2例会、歳忘れファミリー懇親例会として開催された。前半における皆様の努力に感謝をし、後半の活躍を期待し、お互いを元気づけるもっと理解し合おうとするに配慮された懇親例会であった。長い間病氣静養されていたし前田も元気に例会に出席され、有馬会長の名物髭も鼻下に晴れ晴れと反りくりかえっていた。



第845回
1月第1例会
3R1Z新春合同例会

1月11日、うすら寒いがまずは晴天、さすが4クラブ合同新春例会となると広いプリンスホールも一杯に使って、宗像神社宮司による修祓の儀に始まり、玉串奉奠も無事に進み、わがクラブ会長のゴングで開会となる。引続き新春を寿ぎ、島崎春美先生の二十絃事の調べで心身が洗われるようなすがすがしい気分になる。



第846回
1月第2例会
手話教室例会

1994.1.17 未明に発生した兵庫県南部地震は多数の死傷者を出し、兵庫県南部地域に未曾有の大被害をもたらしました。今回は時々、刻々とその被害の程度が拡大、判明している最中の例会となりました。先ずは大震災で貴い生命を失われた多数の犠牲者の皆様のご冥福を祈って一同黙禱を捧げました。早速有馬会長よりライオンズクラブ335-C地区全体で見舞い金を集め、この震災で被害に合われた兵庫県南部地域の皆さんへ義援金を送ることにしたいとの提案がなされ、全員がこれを心より承認。



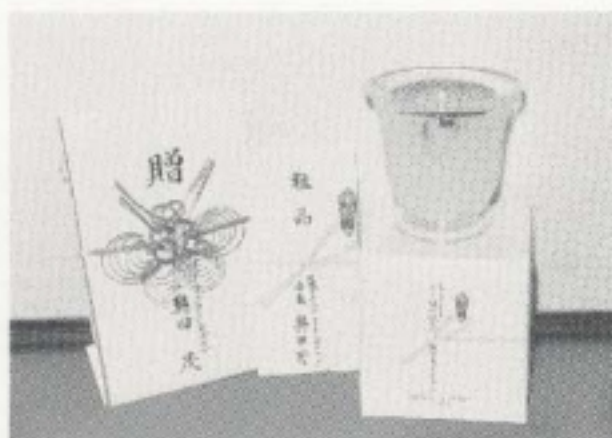
第847回
2月第1例会
通常例会

有馬会長より友好クラブの札幌ライラックライオンズクラブより早速の義援金(100万円)が届き、当クラブの救援拠出金(100万円)とを携え、ZCL井上ともども事務局へ持参、ガバナーより丁寧な謝辞をいただいたとのご報告とお礼のご挨拶、早速柴田(善)に今、話題の「地震保険」についてスピーチをお願い、地震保険は単独保険ではなく火災保険とのセット保険で建物の補償限度額1,000万と災害保険が500万の補償であるとのこと「転ばぬ先の杖」一度考慮されてはとの助言をいただきました。



第848回
2月第2例会
元地区ガバナーを讃える例会

有馬会長の挨拶は、去る2月7日札幌ライラックL.C.の30周年引典に出席の報告があり、まず阪神大震災の為に多額の義援金を頂いた事、内容の充実した盛大な式典であったとお話があり、続いて大震災のボランティア活動について、特別な専門技術よりも心のこもった、奉仕活動こそが必要であるとの見解を述べられた。元地区ガバナーを讃える例会に因んで、L西川(千)から、L大塚ガバナー時代のお話もありました。



第849回
3月第1例会
次期役員、理事指名例会

東大寺では修二会が始まり、我がクラブでは次期の役員・理事が指名された。L橋本の新入会員スピーチ、古の雅人が履いた漆で塗り固めた麻製の履を製造しておられるとか。さすが京都、古都の面目躍如たるものがここにもあったとの思いで興味深く聞かせて頂いた。



第850回
3月第2例会
次期役員、理事選挙例会

ゲストにお招きした京都市消防局の山口貞博氏より「阪神大震災で教えられたこと」と題して講演をしていただきました。お話によりますと「冬の夕刻、仮に京都市に震度6の地震が発生すると、死者8千人、負傷者5万人、火事発生550件、罹災家屋20万戸が予測される。」とのこと。なんとも恐ろしい話です。阪神大震災における一番救援活動に力になったのは向う三軒両隣といわれるご近所同志の助け合いだったとのことが印象的でした。



第851回
4月第1例会
お花見例会

ご承知のとおり何がおきるかわからない物騒な今の世の中にお花見例会とは、なんと情緒があることか。天気予報も当たらずともよいときほど、なぜか的中するもので、この日もクラブメンバーをのせたバスが到着する時間に合せたように雨が降りだした。そこそこにあるお見当の桜もまだ満開とはいかず雨の中静かに咲きはじめていた。



第852回
4月第2例会
留学生を迎える国際交流例会

留学生を迎える国際交流としての例会、有馬会長は挨拶で外国人留学生の金弘己さんと寧鉄さんに今後益々の勉学に励む様に激励されました。国際本部より元木茂に新会員をスポンサーされた日から1年と1日在籍によって栄誉ある「第一ライオン・キー賞」が贈られた。又外国人留学生のお二人に上半期の奨学金が授与され、その後留学生のお二人から日本での日常生活と学生生活のスピーチが有り大変感謝している旨、馴れない日本語でお礼を述べられた。



第853回
5月第1例会
会員懇親例会

有馬会長はまず先輩メンバーのし熊谷、し小堀が入院されていたが、元気で共に退院されたこと、そしてし平野、し竹村が80才をこえられても、元気に例会に出席されて居られる事は大変目出度いとのお話。し松田は魚の諺にちなんだ面白いお話。続いてゲストスピーカーの京都産業大学米田教授の「遺伝子について」の大学の講義レベルの程度の高い講演がありメンバーの遺伝にたいする認識が一段と深まりました。



第854回
5月第2例会
通常例会

来る6月1日CN35周年記念例会にむけメンバーのより一層のご協力とご支援を会長が要請。し高野から永年に亘りライオンズクラブ並びに当クラブにお世話になった御礼と、次期会長し森に奨学基金及び外国人留学生奨学基金にと多額のドネーションを託され、クラブの益々の発展を祈念するとの退会ご挨拶をいただきメンバー一同、一日も早い健康のご回復と、御自愛下さる事を念じ敬意と感謝を込めた惜みない大きな拍手のなか御退席されました。



第855回
6月第1例会
チャーターナイト35周年記念例会

時の流れは絶えることなく悠久に進み、京都平安ライオンズクラブが産ぶ声をあげてから、ついに35年が経ちました。チャーターナイト35周年記念例会はご来賓、友好クラブのメンバー各位など総勢327名の御出席を得て手づくりの記念例会として厳粛さつ盛大に開催されました。明日からは21世紀、40周年を目指して一歩ずつ、心を新たにして出発したいものとメンバー各位こぞで願って散会いたしました。



第856回
6月第2例会
最終引継例会

今年度はCN35周年に当った平安丸もし有馬船長以下クルーの一致協力のもと確かな航跡を残し6月15日無事引継ぎをすることが出来ました。一年間本当にご苦労様でした。次期の平安丸もし森船長のもと、新しい水先案内（し西川満）を得て船客一同拍手喝采の中、堂々の船出、素晴らしいクルージングになることでしょう。



京都平安ライオンズクラブが産ぶ声をあげてから、ついに35年が経ちました。チャーターナイト35周年記念例会はご来賓、友好クラブのメンバー各位など総勢 327 名の御出席を得て手づくりの記念例会として厳粛かつ盛大に開催されました。掲載の各写真によって例会の様子を今一度思い起こして下さい。

チャーターナイト35周年記念例会

1995.6.1 京都国際ホテル



会場受付



ご来賓ご入場



35周年のみちすじ



会場風景



幹事 L 荒川の司会にて



L 西川 (千) 実行委員長



外国人留学生奨学基金を L 坂口委員長に贈呈



スポンサークラブに感謝状贈呈



チャーターメンバー顕彰 L 熊谷 治 L 富田淑郎



当日欠席者 L 大塚正雄



L 山口忠兵衛



Ｌ有馬会長



ガバナーの祝辞



京都ＬＣ会長の祝辞



友好クラブ
サッポロライラックＬＣ会長の祝辞



式典閉会の辞 Ｌ森第一副会長



記念講演 上山春平先生



ウェルカム ドリンクにて祝宴席へ



Ｌ植村親子の祝舞



Ｌ岩田の開宴の辞



Ｌ井上の乾杯のごあいさつ



B.G.M.も生演奏



ほほえみ交す友とわれ



Ｌしもなごやかに



平安ホエールズも大活躍



Ｌ中村閉宴のごあいさつ



ガバナーを囲み「また会う日まで」



役員任期を終えるにあたっての御礼

京都平安ライオンズクラブ

第35期 会 長 有 馬 弘 毅

幹 事 荒 川 貢

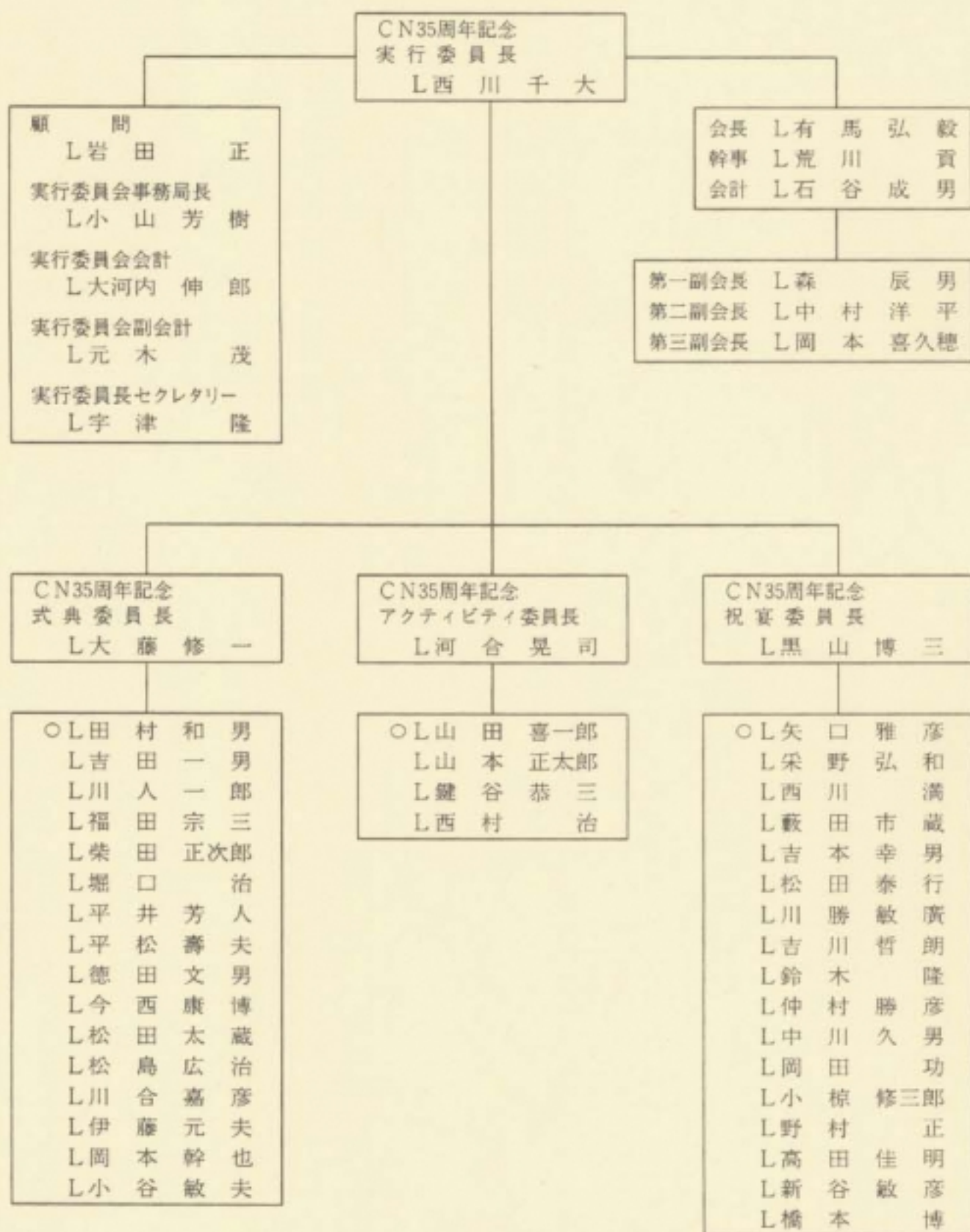
会 計 石 谷 成 男

昨年7月栄光に満ちた京都平安ライオンズクラブの第35代会長に就任以来「平安のきずなは固くお
おらかに」を心構えとして「話し合いと触れ合い」を掲げ、メンバー各位の自由な発想と行動により
クラブ全体が友情と人間 愛と和の精神により結ばれて伸び伸びとした奉仕活動がなされることを願
い運営に当ってまいりました。

しかしながら激動する世情と突発した自然災害に見舞われ、当初夢見た運営とは程遠い結果に終っ
たと自省していますが副会長お三方、各役員をはじめ、各理事、各正副委員長、委員の皆様方の適切
なお力添えと、心のこもったご対応に支えられ任期を終えることが出来たことに心から感謝致します。

終りに35周年C N記念行事の遂行にたまわった委員長はじめ各部門をご担当下さった各位に深い謝
意を捧げて任期を終えるにあたっての御礼の言葉と致します。

CN35周年記念実行委員会編成表



○副委員長